

みんなで作る園の未来!

保育ナビ

12

2023
DECEMBER
<9/12>

特集

子どもに

保育研究を伝える

「子どもたちへのメッセージ」



3・4・5歳児遊びが育つ保育
行事と遊び
生活発表会(子ども会)

「人格」を軸とした人事と研修
看護の世界と
保育の世界

みんなの保護者対応!
わが子目線でしか
考えられないAさん

Hoiku
navigation

巻頭

フリーベルのことは 汐見稔幸 小西貴士

スペシャル対談

実践を实践で実践へ

保育実践から始まる保育のSDGs 4

大豆生田啓友(玉川大学教授)
小西貴士(森の案内人・写真家)

特集

子どもに

保育研究を伝える 10

子どもたちへのメッセージ

松井剛太

園

はじめての、ICT活用術 20

秋田喜代美

園

0・1・2歳児の
保育のきほん
保育者の育ち編 30

井桁容子

園
国の動きを読む！
研究者の目2023 34

大方美香

園

主
3・4・5歳児
遊びが育つ保育 22

保育者が提案する
クラス活動と遊び Part II
河邊貴子 田代幸代

子どもへのGIFT
恩物の世界 32

和久洋三

地域別 持続可能な
園になるために2023 36

特別編 編集委員会報告

こどもまんなか社会など子どもへの社会的な関心は高まっています。本特集では普段子ども自身に表明されることの少ない保育研究の成果を子どもたちに向けてまとめ直し、読み聞かせや子ども自身で読むことで子どもたちへ還元し、その意味について考えます。



『保育ナビ』が伝えたいこと

こどもまんなか社会への一歩
読者の皆さまもご参加ください！

今月の特集は少しチャレンジングな企画かもしれません。子どもについて研究した内容を、大人は子どもにどのように伝えてきたか、という問いかけです。特集では、2つの研究領域の内容を子どもへのメッセージとして掲載しました。ぜひ、子どもたちに読み聞かせてみてください。そして、11ページを参照し、子どもの声を投稿いただけたら幸いです。ご参加をお待ちしております！——『保育ナビ』編集部

『保育ナビ』の使い方

読む



まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。

話す



読んだ記事をもとに、園内で「雑談」したり「研修」をしたりしてみましょう。

保育の質の
向上へ



読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーは毎月、「保育ナビ倶楽部」メールマガジン(年間購読特典)にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください!



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

園経営

コンサルタントが

読み解く

新時代の園経営

2023 42

桑戸真一 柿沼平太郎

質を高める

危機管理 44

生活も保育も

質を向上させよう

脇貴志

人材育成

主

園のリーダーのための

リスペクト型マネジメント

子どもを真ん中に

園づくり・まちづくり 46

大豆生田啓友 根岸拓哉 永井雅也

園

「人格」を軸とした人事と研修 50

エリクソン ティール組織

東洋思想から学ぶ

久保健太

主

人材育成

わいわい語り場Ⅱ 54

岩田恵子

12月号と次号1月号では、「地域づくりの中心として園が担える役割」をテーマに、埼玉県・学校法人柿沼学園 認定こども園こどもむら 理事長 柿沼平太郎先生にお話をうかがいます。

保育内容

保育を深める

編集委員の

おすすめ書籍 58

矢藤誠慈郎

保育が変わる!

保育環境の片付け 60

川辺尚子

information 62

みんなの

保護者対応! 65

始めよう

子どもの姿ベースの

指導計画 66

大豆生田啓友

松山洋平

巻末

子どもと保育を思う日々から

無藤隆

保護者の数だけ正解があるだけに、何かと頭を悩まされることが多い「保護者対応」。普段はあまり目にする機会がない他園の保護者対応の様子を毎月1事例、紹介します。

実践を実践で実践へ 保育実践から始まる保育のSDGs

「保育ナビ」
スペシャル
対談
Special Talk

SDGsという言葉の日本での認知度は上がり、保育でもSDGsと銘打たれた研修が増えています。しかし、SDGsの目的が理解された意味のある実践となっているのか、また、どんな情報なら実践に役立つのか、今一度問うてみる必要があるのではないのでしょうか。今回の対談では、本誌で3年にわたり保育とSDGsの関係を発信してきた小西さんと、新刊の共編著者である大豆生田先生が、その問いへの思いを語り合いました。

(対談は2023年8月に実施)

様々な業界において活躍されている方々をお招きし、じっくりとお話をうかがいます。保育を捉え直す際のきっかけが見つかります。

写真／フレーベル館写真室



／聞き手／

大豆生田啓友

(おおまめうだ ひるとも)

玉川大学教育学部教授。こども家庭庁「こども家庭審議会」(親会)委員、文部科学省「幼保小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム」委員、厚生労働省「保育所等における保育の質の確保と向上に関する検討会」座長代理等歴任。NHK・Eテレ「すくすく子育て」出演。「園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント」(全2巻、共にフレーベル館)ほか著書多数。

／ゲスト／

小西貴士

(こにし たかし)

森の案内人・写真家。八ヶ岳南麓の森で子どもを含む命を考え、撮り、また考える。持続可能な社会と保育を結んで考える場「ぐうたら村」の共同代表者。著書に「子どもと森へ出かけてみれば」「子どもは子どもを生きています」「子どもがひとり笑ったら…」(いずれもフレーベル館)、「チキウニウマレテキタ」(風鳴舎)ほか。

子どもに 保育研究を 伝える

～子どもたちへのメッセージ～

2023年4月に発足したこども家庭庁ではこどもまんなか社会の実現に向けての取り組みを進めるなど、子どもへの社会的な関心は高まっています。そして、子どもたちに関心を寄せ続けている研究者によって、教育学、心理学、保健学などの領域で解明され、それは学際的研究領域の土台となっています。しかし、こういった研究成果が子ども自身に向けて表明されることは少ないのが現状です。本特集では、研究成果を子どもたちに向けてまとめ直し、子どもへ還元することの意味を考えてみたいと思います。

Contents

ありがとう …P.10

子どものことに思いをはせて

～おとなは、きみたちにつたえたい～ …P.11

松井剛太 (香川大学)

子どもたちの声を聴いてみよう！

赤ちゃん学の領域から

ママとパパ …P.12

保育学の領域から

せんせい …P.15

P.12「ママとパパ」 P.15「せんせい」を
5歳児クラスで実際に読み聞かせて

子どもたちの声を聴いてみました！ …P.18

子どもたちに「伝える」ということ …P.18

あなたたちと一緒に知って、感じて、考えたい

淀川裕美 (千葉大学)

子どもに伝える、心にふれる

青山 誠 (上町しぜんの国保育園)

まとめ

子どもの内なる声に耳を傾けて …P.19

七木田 敦 (広島大学大学院)

ありがとう

きみたちに

ふさわしいことばだと、

ぼくはおもうんだ。

「なんぞ？」

きみたちが、

よのなかをあかるくして

くれるからだよ。

ぼくだけじゃない。

たくさんのおとなが、

そうおもってる。

きみたちが、

たくさんあそんで、

たくさんわらって、

たくさんげんきで

いられるような、

よのなかになることを

子どものことに思いをはせて おとなは、きみたちにつたえたい

松井剛太 (香川大学 教育学部 准教授)



子どものことが好きで、子どものことを知りたくて、研究を続けています。保育研究に携わる多くの人たちは、子どもたちへの「関心」を研究の動機にしていると思います。そして、この「関心」は、研究を通して「感心」に変わることがあります。子どもたちとかわり、研究を続けることで、明らかにすることがある。それは、子どもたちの可能性からすれば、本当に本当にほんの少しなのですが、問いの答えが見えた時に、子どもたちに「感心」するのです。

ここで、ふいに思いました。子どもたちの研究をしてきた人たちは、明らかにしたこと子どもたちどのようになつてきたのだろうか、と。

当然ながら、論文、学会発表、報告書など、子どもに関心を寄せる大人に向けた媒体はたくさんあります。しかし、子どもたちに伝えるような媒体はほとんど思い浮かびません。まして、子どもの年齢が幼

くなればなるほど、その表現方法は難しくなっています。

研究の対象に研究成果を開示することは、倫理上不可欠になっています。それなのに、子どもたちに対しては、研究成果を還元することはない。もちろん、保育の関係者が知ることでも間接的に子どもたちにも成果がもたらされることはあります。また、子どもたちに伝えることが子どもたちに不利益を及ぼしてしまうような内容もあると思います。すべてが、そうあるべきとは思いません。

ただ、研究の成果を伝えることで、子どもたちがうれしい気持ちになつたり、励まされたりすることがあるならば、何より感慨深いことではないかと思うのです。本特集は、そこにチャレンジしたい。

読者の皆さまも一緒に考えてください。この取り組みへのたくさんのご批判と少しの応援をいただければありがたいです。

ねがっているんだよ。

さいしょにいいたい。

いまここにいてくれて、

ありがとう。

子どもたちの声を聴いてみよう！

『保育ナビ』では子どもの声を大事にする取り組みをしています。右の2次元コードから動画をご覧ください。本特集「ママとパパ」「せんせい」を子どもたちに読み聞かせいただき、動画のコメント欄に子どもたちの声(反応や発言、感想など)をお寄せください。



※コメントにはYouTubeへのログインが必要となります。

コメント欄はだれでも見られるものとなりますので、個人の特定できる情報は書き込まないようご注意ください。

松井剛太
(まつい こうた)

香川大学 教育学部准教授。専門分野：教育学。幼保小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム 委員。
幼保小接続期の教育の質保障の方策に関するワーキンググループ 委員、等。

INDEX

カテゴリー別で保育をさらに深めます

国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目 2023
〈文部科学省編〉

「次世代の学校教育の在り方」に
関する論点について

36

地域別
持続可能な園になるために 2023
特別編 編集委員会報告
こども基本法と子どもの権利について

園経営

42

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営 2023
地域づくりの中心として
園が担える役割 ①

44

“質”を高める危機管理
～生活も保育も質を向上させよう
【リスクテイク】
人生のリスクテイク

人材育成

46

園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント
子どもを真ん中に 園づくり・まちづくり
コミュニティコーディネーターが
創る、地域との新しい可能性

50

「人格」を軸とした人事と研修
エリクソン ティール組織 東洋思想から学ぶ
看護の世界と保育の世界

54

人材育成
わいわい語り場 II
保護者との協働に向けた職員の育成

保育内容

58

保育を深める
編集委員のおすすめ書籍
『保育実習指導の
ミニマムスタンダード Ver.2
「協働」する保育士養成』

60

保育が変わる！
保育環境の片付け
倉庫（遊具・玩具）

62

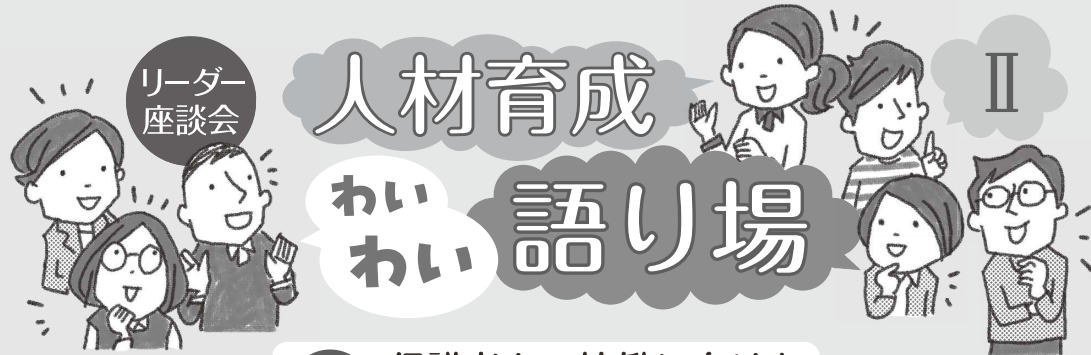
information
『保育ナビ』編集部からのお知らせ

65

みんなの保護者対応！
わが子目線でしか考えられないAさん

66

始めよう
子どもの姿ベースの指導計画
保障すべき事柄は保障し、
業務をスリム化しながら、
保育者としての資質向上を目指す



リーダー
座談会

人材育成

わいわい語り場

II

第8回

保護者との協働に向けた 職員の育成

前月号に引き続き、「保護者との協働」を取り上げます。保育において保護者との関係は重要ですが、協働していくにはどのような道筋があるのでしょうか。今回は、保護者との協働に向けた職員の育成について、語り合っていました。



青山 誠
(あおやままこと)
社会福祉法人東香会 理事
(保育担当)、上町しぜん
の国保育園 副園長。「子
どもの前に立つ」よりも、「子
どもの隣にいる」のほうが
好き。



関山隆一
(せきやまりゅういち)
NPO 法人もあなキッズ自然
楽校理事長。森のようちえ
んめーぶるキッズ園長。神
奈川県内に6つの園と1学
童保育施設を運営。保育の
モットーは「みんながって
みんないい」。



田澤里喜
(たざわさとき)
玉川大学教育学部 教授。学
校法人田澤学園 東一の江
こども園 園長。保育をする
なかで大切にしている言葉は
「子供は遊戯をしないと馬
鹿になる」(小原國芳)。玉
川学園創始者の言葉です。

人材育成



岩田

前回に引き続き、保育サービスの提供側と受け取り側としてではない、共に子どもを育てる仲間として、園と保護者との協働について取り上げます。今回は、職員の育成の視点から大事なことを掘り下げていきたいと思います。

保護者との関係性がふと変わる瞬間がある

いろいろな保護者がいるので、なかには思うような保育サービスが受けられないと不満をもつ方もいます。一方で、園とつながるうちに、変わっていく方もいます。

卒園式で、ある保護者から手紙をもらいました。「この園に来なかつたら、子どもにああしろ、こうしろと言いつける親になつていたと思う。この園に来てよかった」と書いてありました。

すぐにはわかつてもらえなくても、自分たちの保育を粛々と実践していくことで保護者に響くこと



田澤



岩田

があるのだと思いました。保育が保護者との関係性を変えたのですね。

そうですね。思うに、保育者と保護者は、直接つながるより、子どもを介してつながるほうがよいのかもしれませんが。子どもが「あの先生、おもしろいよ」と言うことで、保護者がこちらを信頼しやすくなると思います。

何か具体的なエピソードはありますか。

先日、園で、パン屋さんごっこと電車ごっこが合体して移動パン屋さんごっこが始まったのですが、全然お客が来ないんです。子どもが「お客さんが来てくれない」と保護者に相談したら「看板を作つたら？」と、保護者自ら廃材に絵を描いてくれました。

そのことが、すごくうれしくて。特別なことではないけれど、こうやって子どもを介して保護者が園とつながっていくのはいいなと思



田澤



青山

いました。

いいエピソードですね。

ほとくの園では、こんなことがありました。ある保護者から「泥んこで遊ばせるから靴下が汚れて困る」と叱られたんです。「靴下をゴシゴシ洗わないと汚れが取れない」と言われ、内心、「何言ってるんだ」と思っていたら、それが顔に出たのでしょね。長々と説教されました。

ところが、しばらく話をしているとその保護者が「私、頼るところが保育園しかないですよ」と言つたんです。「実家も遠くて頼れないなか、この子を絶対に幸せにしたい」と思つて仕事を頑張つて「この園なら異年齢クラスで大家族みたいのにぎやかに過ごせるんじゃないかと思つている」と。最後に「くたびれて帰ってきて、靴下を洗っている私の気持ち、わかる？」と言われた時、心の内を語つてくれたことに感動しながら

プロフィール●岩田恵子 (いわた けいこ) / 玉川大学教育学部教授、玉川大学大学院教育学研究科・脳科学研究科兼担。保育の場における子どもたちの育ち、学び、さらには、それを支える保育者の学びを、二人称的アプローチで捉えることを試みている。著書『子どもがケアする世界』をケアする! ミネルヴァ書房 (共著)、『教えと学びを考える 学習・発達論』玉川大学出版部 (編著)、『保育ドキュメンテーションの作り方』西東社 (共著) など。



関山

聞いている自分がいました。そこから、その保護者との関係性が変わった気がします。その後も、何かと無理難題を言ってくるんだけど（笑）、こちらも「できることはなんとかするよ」と受け止められるようになりました。

最初、違和感のほうが大きくても、気持ちがあふれ合って関係性が変わる瞬間があるんですよ。

うちの園の保護者もいるいると大変だと思えます。しょっちゅう遠足に行くので、その度におむすびを持ってきてくれとお願いしていますし、子どもたちは毎日、コーヒー牛乳のような水たまりに入って遊んでいるのでTシャツも何もかもドロドロだし。

「洗濯が大変」と文句を言われるんだけど、その大変さをみんなに分かち合っていくことで生まれてくる連帯感があるんですよ。卒園する頃には「みんな頑張ったよね」「この園で良かったね」とい



岩田



田澤

う空気になります。

「うちは洗濯機、3回買い替えましたよ」とニヤツと笑いながら言われたのは、クリームではなくて「ありがとう」と言われたんだと確信しています。

保護者も「人」ですからね。保護者と保護者が互いに気にし合っで影響し合っで、人間同士としてかかわっていくことが大切なのではないでしょうか。

コロナ禍だからこそ 生まれた関係性も

園という場所で子どもが育ち、保護者も育ち、保育者も育ちという具合に、すべてが連動していると感じました。

特にコロナ禍においては、困難な状況に共に立ち向かわざるを得ないなかでこそ生まれた関係性もあるのかもしれない。そのあたりはいかがですか。



岩田



田澤

コロナ禍では密を避けるために、保護者が園に滞在する時間を極力短くしていました。その時、保護者の声が聞こえないことがこんなに不安なのかと思いました。聞かえていた時はちよつとうるさいとすら思っていたんですけど（笑）。

そこで、ちよつとしたことでも保護者に意見を尋ねることにしました。そして、何か新しいことを始めたり、これまでと違うことをしたりする時は必ず意味を説明するようにしました。例えば、給食の時間についてを使っていたのを、ある時点から止めたのですが、その理由も丁寧に説明しました。

そのうちに、保護者も、より園のことを応援してくれるようになったんです。互いに自分の考えをオープンにしながらのコミュニケーションは大事ななと感じました。

保護者を尊重している姿勢が伝わったのでしょうか。



青山

少しずつ積み上げていく コミュニケーションを大切に

うちの園でも、マスクを付けるか付けないかも含め、保護者とたくさん話をしました。

認可園なので自治体からの指示というのはあれこれあるわけですが、同じ子どもなのに通っているのが保育園なのか幼稚園なのか、認可園なのかそうではないのかによって、コロナや台風の時の登園一つとっても扱いが違います。感染症対策についても自治体とたくさん話しました。

そうしたなかで最初に保護者に伝えたのは、コロナ、完全に防げるわけではないじゃん、ということでは、どうするか。園の考えは示す、でもそれを押し付けるのではなく、各家庭でも考えてもらおう、そのうえでマスクをどうするか一つとっても迷って考えていくしかない、と言いました。

コロナ禍のあれこれについて、



田澤

園でもたくさん悩んで、それを保護者と共有したことで新たな関係性が生まれました。

行事などで子どもの成長した姿を見せて、それに保護者が感動して園に対する信頼が高まるなどという話をよく聞きます。でも、それだけではなく、日常のなかで

岩田先生まとめ



多様な価値観の中で
自分の思いを表す
対話を重ねて育ち合う

保護者との「対話」の内容は、「この遊びおもしろいね」はもちろんのこと、「どろんこの洗濯物は大変」「マスクを付けるか、付けないか」といった非常に悩ましい課題まで多岐にわたります。この対話の中では、多様な価値観のぶつかり合いも生じます。ぶつかり合えるということは、自分の思いを表すような対話を重ねられ、多声的な声から保育の日常がつくられていく可能性が広がるということでもあります。新人の保育者もまた、この「対話」に自分を表すかたちで自分なりに参加していくプロセスが、育っていくプロセスなのだと思います。他者の声に聴き入りながら、自分の思いも表し合う、互いに育ち合う保育の場での「対話」について、もっと学んでいきたいと感じる貴重な時間でした。



岩田

少しずつ積み上げていくコミュニケーションを大事にしたいと改めて思いました。

コロナ禍で、そこがより浮き彫りになったということですね。貴重なお話をありがとうございました。

information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』編集部では、4つのメディアでも
保育情報を配信しています。

『保育ナビ』
の
情報を
もっと!

『保育ナビ』の公式サイト

<https://www.hoiku-navigation.com/>



『保育ナビ』の公式 Facebook

<https://www.facebook.com/froebelkan.hoikunavi/>



『保育ナビ』YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ



メールマガジン「保育ナビ倶楽部」

<https://www.hoiku-navigation.com/news/naviclub2023/>



『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン「保育ナビ倶楽部」（登録無料）。保育に役立つ情報をタイムリーにお届けします。

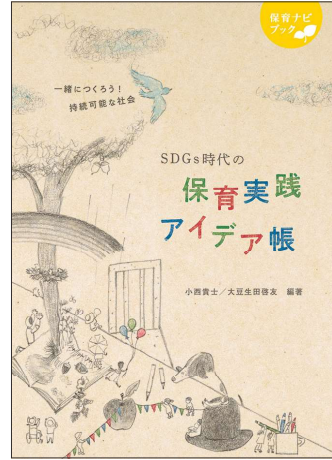
- ①園経営から保育エッセイまで、保育に役立つ情報を配信
- ②『保育ナビ』と連動した解説動画のお届け
- ③『保育ナビ』最新記事情報
- ④保育オンラインセミナー・商品情報

保育ナビ

保育ナビブック SDGs時代の 保育実践アイデア帳

11月中旬刊行

生き生きと考え、子どもたちと一緒に実践するための12のテーマ、110の実践アイデア、36の羅針盤（進むべき方向）、60の実践者を勇気づける言葉、SDGsやESDの専門家による9のキーワード解説を掲載。未来志向の保育や園をデザインし、実践を進めていく上で助けとなる、想像と対話を生みだすアイデア帳！



編著 / 小西貴士・大豆生田啓友
定価 2,970円 (本体 2,700円 + 税 10%)
112頁、B5判、2色
ISBN 978-4-577-81537-3
108-19

保育に身近な12のテーマ

食べる / 地域 / インクルーシブ / 貧困 / エネルギー / 生態系 / ジェンダー / 廃棄・ゴミ / 人権 / グローバル / 平和 / テクノロジー

※より良い内容とするため、内容は変更となる場合があります

キンダーブックの 月刊保育絵本

詳しくは
ホームページを
ご覧ください



1冊からご購入いただけます。

お申し込みは貴園営業担当か営業推進チーム
(03-5395-6608)、またはオンラインショップ
「つばめのおうち」(<https://www.froebel-tsubame.jp/>)
にお問い合わせください。



自然のしくみを伝え、
子どもの『なぜ?』に答える科学絵本
しぜん 4・5歳児クラス
キンダーブック 科学絵本
定価 500円 (税込)

保育に役立つ情報満載!!

“命のたいせつさ”や
“しくみのおもしろさ”を伝え、
考える力を育みます!

国文庫に
びったり!

保存に便利な
ハードカバー!



興味が広がるバラエティ豊かなラインナップ!

4月号 ちょう	7月号 バナナ	10月号 き	1月号 つちのなか
5月号 パン	8月号 コップてじな	11月号 がっき	2月号 ちょうみりょう
6月号 さわがに	9月号 くも	12月号 ハムスター	3月号 ぜつめつした いきもの

おはなし絵本 12月号 ラインナップ!

ころころえほん
1・2・3歳児クラス
定価 410円 (税込)



キンダーメルヘン
3・4歳児クラス
定価 410円 (税込)



キンダーおはなしえほん
4・5歳児クラス
定価 410円 (税込)

